

2025_0402「雲間の木星・すばる・オーロラ（写真）」日々の理科 3891号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

昨年8月から今年の4月にかけての今シーズンのオーロラは、私が遠隔観測をしているスウェーデン北部では、晴れていれば、ほぼ100%の出現率でした。3月下旬になると夜が短くなり、そろそろオーロラシーズンも終わりに近いのですが、まだまだ明るいオーロラの出現が続いています。

どんなにオーロラがよく観望できる場所でも、雲には勝てません。オーロラの出現高度は地上400km程度ですが、雲はせいぜい12kmでずっと下です。雲が遮れば、さすがに地上からは観望できません。しかし曇天の日でもあきらめてはいけません。雲間にすばらしい輝きを見せることがあるからです。

この写真にもオーロラ、木星、すばる（プレアデス星団）が写っていますが、すべて雲間の一瞬です。大変珍しく、また面白い写真だと思います。

(2025年3月下旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅／東京から遠隔観測)

